

田原市社協の活動

地域福祉活動

- 【生活困窮者自立相談支援・就労準備支援】様々な理由で生活困窮している方の相談支援、就労に向けた日常生活自立の訓練等を実施し、支援しています。
- 【ボランティアセンター】各種ボランティア養成講座開催、情報提供、活動のマッチング、相互交流を支援しています。
- 【生活ささえあいネット】身近な地域での助け合いを地元商店との連携により、地域通貨「菜」を活用して共助による地域づくりを進めています。
- 【共同募金】学校、地域、事業所（市役所含む）、学校、民生児童委員協議会、手をつなぐ育成会を始めとした各種団体のご協力の下、募金活動を行い、その配分金によりボランティア団体や学校の福祉活動に助成しています。

福祉サービス利用支援

- 【成年後見センター】判断能力が十分でない方の日常生活上必要な契約・財産の管理などを行い、権利を護っています。
- 【心配ごと相談】弁護士等の相談員の助言により、日常生活上のあらゆる心配ごとについて無料で相談に応じています。
- 【障害児・者の相談】障害児・者の福祉サービス利用、退院後の地域移行・定着、就労などを支援しています。
- 【高齢者支援センター】高齢者が地域で尊厳ある生活が継続できるよう、介護、保健、医療、福祉の増進を包括的に支援しています。
- 【障害福祉サービス・移動支援】障害者に在宅での日常生活支援、余暇活動等の外出援助にヘルパーを派遣しています。
- 【就労移行支援事業】一般企業への就職を希望し、雇用見込みのある障害者への施設内での就労訓練や就労後の支援をしています。
- 【日中一時支援】家族の介護負担軽減のため、障害者の日中の居場所を確保し、集団生活への適応訓練等を赤羽根福祉センターに「なのはな」、岡ノ越会館（古田町）に「あつみ」を開設し実施しています。

施設・指定管理

- 【田原福祉センター・赤羽根福祉センター管理】施設管理運営を通じて高齢者・障害者福祉の向上、健康増進、地域福祉の推進を行なっています。

会費はこのように使っていきます

平成29年度予算 会費 3,000,000円

- 【地域福祉活動のPR】では、社協だよりの年6回発行に1,425,000円(47.5%)、外出支援の福祉バスリース料に1,062,000円(35.4%)、福祉のつどい開催経費の一部として213,000円(7.1%)を使います。
- 【小地域活動】では、高齢者の居場所づくりとして、市民が自主的にサロンを開設する場合、立上げ支援として300,000円(10%)を助成します。(1サロン年間上限30,000円を3年間助成)



住民が自主運営するコミュニティサロン

在宅福祉サービス（介護保険事業等）

- 【居宅介護支援】自宅で適切に介護サービスを利用できるように、ケアマネジャーがケアプラン（居宅サービス計画）を作成したり、ケアプランに位置づけたサービスを提供しています。
- 【訪問介護】利用者の自宅にヘルパーが訪問し、食事・排泄・入浴などの介護や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援をします。
- 【福祉車両運行サービス】高齢や障害で公共交通機関利用が困難な方の医療機関や公共施設などへの移動を福祉車両提供により支援しています。
- 【配食サービス】一人暮らし等の高齢者宅に昼食弁当を配達し、同時に安否確認を行なっています。
- 【高齢者介護予防】高齢者に閉じこもり予防教室や筋力トレーニング教室等を実施しています。

その他

- 【結婚相談】田原福祉センター内に「ふれあい相談センター」を開設し、婚活イベント、セミナーの実施、登録者のお見合い等、ウェディングアドバイザーが結婚に関する相談に乗っています。